

社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 糖尿病センター紹介と活動内容

〈はじめに〉 当院の糖尿病センターは2008年4月に開設されました。糖尿病の発症予防、進展阻止のために、血糖、体重、脂質、血圧のコントロール、食事や運動といった生活習慣の改善に力を入れています。また、地域の医院、診療所と連携を深め、患者さんが行き来しながらよりよい医療が受けられるよう努めています。

日本糖尿病療養指導士は看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師が在籍し、患者さんの療養指導に従事しています。

〈糖尿病教室〉 当院ではクリニカルパスを使用した糖尿病教育入院を行っています。各職種が糖尿病教室（資料1）を担当し、患者さんは糖尿病についての知識を学んでいます。歯周病の評価に応じて歯科の受診勧奨をしています。

曜日	午後 15:30~16:10	
月	検査について	検査技師
火	日常生活での注意点	看護師
木	運動療法について	理学療法士
月	糖尿病とはどんな病気？/糖尿病の合併症は怖い・・・ 糖尿病の治療はどのようにして行われる？	医師
火	薬物療法について	薬剤師
木	食事療法について	管理栄養士

(資料1 糖尿病教室スケジュール)

〈糖尿病の足病変予防〉 入院時にフットチェックを行い大切な足を守るため、足のお手入れ方法について個別指導を行っています。

当院には、糖尿病看護認定看護師が2名在籍しています。入院患者さんのフットケアの充足を図るためフットケアの依頼手順書（資料2）を作成し、看護スタッフが中心となり予防的フットケアが行えるよう活動も行っていきます。

看護スタッフ各位

入院患者のフットケアについて

2023年10月12日
糖尿病看護認定看護師

目的 フットケアの充足を図る
目標 スタッフが中心となり予防的フットケアが行える
対象 糖尿病足病変ハイリスク要因を有する患者
ア、足潰瘍、足趾・下肢切断既往 イ、閉塞性動脈硬化症 ウ、糖尿病性神経障害
内容 足の状態の観察方法、ニッパーを用いた爪甲切除（巻き爪、肥厚爪、爪白癬等）など
角質除去、足の清潔、セルフケア方法、正しい靴の選択方法など

〈依頼方法〉

各部署長へ報告・相談の上、PHSまで連絡下さい
糖尿病看護認定看護師 國村（5657） 西山（5672）

依頼があれば担当看護師同席のもと
まずは足を見ていただき、実践をレクチャーします

(甲) 爪甲検査 (そのとうりわんしょう) フットケア前

(乙) 脚指、薬指 (足趾) の肥厚 フットケア前

(丙) 爪甲検査 (そのとうりわんしょう) フットケア後

治療を要します
まずは医師へ相談して下さい

その他
・ケア後は、看護計画及びフローチャートで看護介入の追加をして下さい。
・糖尿病患者以外のフットケアにてお困りのことがありましたら、ニッパーを用いた爪の切り方・皮膚ケアの方法など、アドバイスを行いますので連絡下さい。
・日本糖尿病療養指導士（糖尿病合併症管理に関する研修）を受講された方もいますので、病棟で相談のうえ、一緒にケアの充実に努めていきましょう。

(資料2 入院患者のフットケアの依頼手順書)

〈糖尿病カンファレンス〉 毎週水曜日16時から、各職種が集まり糖尿病カンファレンスを行っています。最新の情報を持ち寄り糖尿病についての学びを深めています。患者の情報共有や問題点についてもディスカッションを行い、様々な意見を参考に支援に活かしています。

〈おわりに〉 各職種が連携し、患者さんが糖尿病と付き合いながら自らのやる気を引き出せるようサポートを行っていきたいと思います。

(文責：國村昭子 西山紀子)